

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮島学園北海道ファッション専門学校
設置者名	学校法人 宮島学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾・家政専門課程	服飾研究科	夜・通信	2,337 時間	240 時間	
	服装総合科	夜・通信	1,554 時間	160 時間	
	販売速成科	夜・通信	807 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.miyajima-fashion.com/public>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮島学園北海道ファッション専門学校
設置者名	学校法人 宮島学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.miyajima-fashion.com/public>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	道議会議員	令和6年5月30日～ 令和7年5月29日	組織運営体制の チェック機能
非常勤	社会福祉法人 理事長	令和6年5月30日～ 令和7年5月29日	組織運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮島学園北海道ファッション専門学校
設置者名	学校法人 宮島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
年度初め(3月末)に各教科担当教員と、教育目標、年度の取り組み、業界が求めるニーズに適応できるよう年間授業計画を組み、全体のバランスを確認しながら授業計画書(シラバス)を作成。 入学後のオリエンテーション等で、授業の目的、成績評価方法、認定基準を学生に説明。またホームページで公表(6月末をめどに)している。	
授業計画書の公表方法	http://www.miyajima-fashion.com/public
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
評価は、前後期、それぞれ教科毎に、学力評価(筆記試験、実技試験、課題作品、ノート提出)と、平常評価(受講姿勢、出席状況等)を加味し、総合評価とし、「優」「良」「可」「不可」で成績評価を行なう。 年度末に最終評価を行ない、履修を認定している。 認定を満たさない場合は、補習、再試験を実施している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業の評価を数値化し、(優=3・良=2・可=1・不可=0) 授業科目で割り、1科目当たりの平均値を算出し、それを基にG P A分布図を作成、学生の相対的な位置を把握する。 学生への周知に関しては、入学後のオリエンテーションなどで説明。また、ホームページで公表する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://www.miyajima-fashiion.com/public
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 年度末に卒業認定会議を実施する。 認定基準 ・各教科の最終評価が「可」以上である ・各教科総授業数の80%以上を履修している ・学費、諸費、その他の納入金が全額納入されている 全ての項目が基準を満たしていることを確認、卒業認定。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.miyajima-fashiion.com/public

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮島学園北海道ファッション専門学校
設置者名	学校法人宮島学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.miyajima-fashiion.com/public
収支計算書又は損益計算書	http://www.miyajima-fashiion.com/public
財産目録	http://www.miyajima-fashiion.com/public
事業報告書	http://www.miyajima-fashiion.com/public
監事による監査報告（書）	http://www.miyajima-fashiion.com/public

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政分野		服飾・家政専門課程	服飾研究科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2, 7 0 0 時間	810 時間	時間	1, 875 時間	15 時間	時間
			2, 700 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		8 人	0 人	4 人	14 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

年度始めに各教科担当教員と、教育目標、年度の取り組み、業界が求めるニーズに適切できるよう年間授業計画を組み、全体のバランスを確認しながら授業計画書（シラバス）を作成。

入学後のオリエンテーション等で、授業の目的、成績評価方法、認定基準を学生に説明。またホームページで公表している。

成績評価の基準・方法

（概要）

評価は前後期、それぞれに教科毎に、学力評価（筆記試験、実技試験、課題作品、ノート提出）と、平常評価（受講姿勢、出席状況等）を加味し総合評価とし、「優」「良」「可」「不可」で成績評価を行なう。

年度末に最終評価を行ない、履修を認定している。

認定に満たない場合は、補習、再試験を実施している。

各授業の評価を数値化して、全授業の合計数をGPA分布図にして公表する。

学生の相対的な位置を把握する。

卒業・進級の認定基準
(概要) 年度末に卒業認定会議を実施する。 認定基準 ・各教科の最終評価が「可」以上である。 ・各教科総合授業数の80%以上を履修している ・学費、諸費、その他の納入金が全額納入されている 全ての項目が基準をみたしていることを確認、卒業認定。
学修支援等
(概要) 本校における修学支援は、主に各学科における担任と教務課が協働して実施している。学生の修学に係る支援は、履修に関する指導・相談の他、学生生活や奨学金に関すること等、多岐にわたっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) (株)ロンド、T Tインターナショナル(株)			
(就職指導内容) 入学当初から担任と就職課の三者面談を行い、校内企業説明会や授業科目である校外実習（インターンシップ）等を通じ、卒業後の早期離職を防ぐことも見据え、ミスマッチの無い就職活動を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション販売能力検定、ファッションビジネス初能力検定、ファッション色彩能力検定、パターンメイキング技術検定、洋裁認定試験、色彩検定、ラッピングコーディネーター、教員能力検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期的な個人面談で学生状況の把握。保護者との連携。 学力不足、単位不足の学生に関しては補習を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政分野		服飾・家政専門課程	服装総合科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 8 0 0 時間	540 時間	時間	1, 245 時間	15 時間	時間
			1, 800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		26 人	0 人	4 人	14 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度始めに各教科担当教員と、教育目標、年度の取り組み、業界が求めるニーズに適應できるよう年間授業計画を組み、全体のバランスを確認しながら授業計画書（シラバス）を作成。 入学後のオリエンテーション等で、授業の目的、成績評価方法、認定基準を学生に説明。またホームページで公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は前後期、それぞれに教科毎に、学力評価（筆記試験、実技試験、課題作品、ノート提出）と、平常評価（受講姿勢、出席状況等）を加味し総合評価とし、「優」「良」「可」「不可」で成績評価を行なう。 年度末に最終評価を行ない、履修を認定している。 認定に満たない場合は、補習、再試験を実施している。 各授業の評価を数値化して、全授業の合計数をGPA分布図にして公表する。 学生の相対的な位置を把握する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年度末に卒業認定会議を実施する。 認定基準 ・各教科の最終評価が「可」以上である。 ・各教科総合授業数の80%以上を履修している ・学費、諸費、その他の納入金が全額納入されている 全ての項目が基準をみたしていることを確認、卒業認定。
学修支援等
（概要） 本校における修学支援は、主に各学科における担任と教務課が協働して実施している。学生の修学に係る支援は、履修に関する指導・相談の他、学生生活や奨学金に関すること等、多岐にわたっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	1 人 (12%)	7 人 (88%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) (株)アズノウアズ、(株)パル、(株)T S I、(株)ウィゴー、(株)ヤマダヤ、(株)シェア			
(就職指導内容) 入学当初から担任と就職課の三者面談を行い、校内企業説明会や授業科目である校外実習（インターンシップ）等を通じ、卒業後の早期離職を防ぐことも見据え、ミスマッチの無い就職活動を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション色彩能力検定、、パターンメイキング技術検定、洋裁認定試験、色彩検定、ラッピングコーディネーター、教員能力検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期的個人面談での学生状況の把握。保護者との連携。 学力不足、単位不足の学生に関しては補習を実施。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政分野		服飾・家政専門課程	販売速成科		—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1年	昼	900時間	360 時間	時間	525 時間	15 時間	時間	
			900 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人		7 人	0 人	4 人	14 人	18 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度始めに各教科担当教員と、教育目標、年度の取り組み、業界が求めるニーズに適應できるよう年間授業計画を組み、全体のバランスを確認しながら授業計画書（シラバス）を作成。 入学後のオリエンテーション等で、授業の目的、成績評価方法、認定基準を学生に説明。またホームページで公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は前後期、それぞれに教科毎に、学力評価（筆記試験、実技試験、課題作品、ノート提出）と、平常評価（受講姿勢、出席状況等）を加味し総合評価とし、「優」「良」「可」「不可」で成績評価を行なう。 年度末に最終評価を行ない、履修を認定している。 認定に満たない場合は、補習、再試験を実施している。 各授業の評価を数値化して、全授業の合計数をGPA分布図にして公表する。 学生の相対的な位置を把握する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年度末に卒業認定会議を実施する。 認定基準 ・各教科の最終評価が「可」以上である。 ・各教科総合授業数の80%以上を履修している ・学費、諸費、その他の納入金が全額納入されている 全ての項目が基準をみたしていることを確認、卒業認定。
学修支援等
（概要） 本校における修学支援は、主に各学科における担任と教務課が協働して実施している。学生の修学に係る支援は、履修に関する指導・相談の他、学生生活や奨学金に関すること等、多岐にわたっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	2人 (67%)	0人 (%)	1人 (33%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 入学当初から担任と就職課の三者面談を行い、校内企業説明会や授業科目である校外実習（インターンシップ）等を通じ、卒業後の早期離職を防ぐことも見据え、ミスマッチの無い就職活動を実施している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション色彩能力検定、パターンメイキング技術検定、洋裁認定試験、色彩検定、ラッピングコーディネーター、教員能力検定
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期的個人面談での学生状況の把握。保護者との連携。 学力不足、単位不足の学生に関しては補習を実施。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
服飾研究科1年次	130,000 円	700,000 円	165,000 円	
服装総合科1年次	130,000 円	700,000 円	165,000 円	
販売速成科	130,000 円	700,000 円	165,000 円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.miyajima-fashion.com/public
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめ教育活動や環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより業界や企業、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会を設置して客観的な点検及び評価を行なう。 構成メンバー ・学校の専門分野における業界関係者(就職先企業、施設等の実習先、

分野別業界団体) ・ 卒業生（同窓会関係者、卒業後一定のキャリアを持った人） ・ 保護者・地域住民 ・ 学校運営に関する専門家（学校マネジメント、財務等の専門家） ・ 学園評議員 ・ 定員4名以上 重点目標 ・ 教育課程・教育方法等の評価 ・ 卒業後の進路、就職指導の評価 ・ 広報、募集活動の評価 本学園が作成した自己評価を基に、検証・評価及び助言を行い、その結果を「学校関係者評価書」にまとめHP等で公表する。 学校関係者評価を受け、実施責任者である事務局長のもと学内において改善案を検討し次年度4月より実施。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
司法書士	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	学校運営に関する 専門家
株式会社 エム・エム・ピー 代表取締役社長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	就職先企業 卒業生
株式会社アルファベットパステル 代表取締役社長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	業界関係者
会社 役員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	町内会長
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.miyajima-fashion.com/public		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.miyajima-fashion.com/public
--